

大正十五年六月二日

勇敢なる従業員諸君。

余の伊那電争議に於て諸君があらゆる屈辱迫害壓迫を
受けて来られた苦難の洗滌を受け下りも獨り居る中
に踏み止まり
て電車の運転に従事して下さり其のお心持を私は取高の
勇氣と名付けます。諸君のために上下伊那郡民は
何程助け
られたか知れませんが、諸君のそれにしては余が敢る
行為に
対して心ある郡民は皆同心にはおりれません。私は郡民一人と
して茲に满腔の感謝の意を諸君の前
に披瀝致します
恐らく郡民の大部分は私と心を一つにして呉れる事と思ひます
勇敢なる従業員諸君

正義は如何なる場合にも悪とはつきしませんが今回の如く
あらゆる凌辱を受け下りも尚敢然として踏み止まりて下さる事
は天の眞意を正しく道に踏みつゝ悪を征服して行く事には
外ならずありてあります。諸君の正しくして勇敢なる態度は
やがて悪夢を此に迷せる争議団の同僚を正途に引き戻す力を
與えざるを得ないであらう。私はそうある事を信じて疑いません。
従業員諸君。 諸君の家族の方には諸君が公衆のために死を賭し
て事業として下さるのに不安を感じておられるかも知れませんが、尤も事
はありまして
け此れ諸君、諸君の背後には正義の燃えたる上下伊那郡民が控えておます
から御安心下さい。務に勉めてあげて下さい。

私は最後に叫びます。
正義のため飽きも疲れずして下さるにせうして正義の勝利を得るまで
血を泥に染めて戦つて下さる女観念は日知人の心持の光輝
あると民性があります。然しあまり急茶に体を使はさないで自慢
下る健康が最後の武器となります。諸君熱血に燃ゆる諸君
お体を御大切に。
一郡民生
従業員諸君御中